

清潔区域環境管理業務特記仕様書

この業務は、委託業務共通仕様書に基づくほか、この特記仕様書により実施するものとする。この仕様書は、清潔区域清掃業務の概要を示すものであり、ここに記載されていない細部の事項については、甲、乙協議し決定するものとする。

(目的)

第1条 本業務は、医療施設を清潔に保ち、特に手術患者の感染未然防止及び拡大予防を進め、安全と快適な環境を確保することを目的とする。

(業務場所)

第2条 業務場所は埼玉県立循環器・呼吸器病センター（埼玉県熊谷市板井1696番地）とする。

(業務内容)

第3条 業務は次の事項とする。ただし、業務の実施に当たっては、関係諸法令、県条例等を遵守し、発注者が定めた諸規定に従い実施する。

(1) 日常清掃

・業務内容

別添「清掃作業基準表」及び「日常清掃・オンコール清掃作業要領」による業務を行い、記録報告を行う。

・業務場所

本館棟2階

血管造影室、CCU

新館棟2階

手術室、ICU、中央材料室

(2) オンコール清掃

・業務内容

別添「清掃作業基準表」及び「日常清掃・オンコール清掃作業要領」による業務を行い、記録報告を行う。

・業務場所

新館棟2階手術室

(3) 定期清掃

・業務内容

乙は実施計画を策定し、甲の承認を受け、別添「清掃作業基準表」及び「定期清掃作業要領」による業務を行い、記録報告を行う。

・業務場所

本館棟2階

血管造影室、CCU、薬剤無菌室

新館棟2階

手術室、ICU、中央材料室

(4) 清浄度測定

・業務内容

別添「清浄度測定作業要領」による業務を行い、記録報告を行う。

・業務場所

本館棟 2 階

血管造影室、CCU、薬剤無菌室

新館棟 2 階

手術室、ICU、中央材料室

(業務従事者)

第4条 乙は、業務を遂行するために、次の業務従事者を定めて甲に届けなければならない。

(1) 現場責任者

(2) 業務作業員（交代勤務者）

2 第1項(1)は、清潔区域清掃に関し高度の知識と経験を有する者とする。

3 第1項(2)は、清潔区域清掃に関し高度の知識と経験を有する者、または同等の知識があると甲が認めた者とする。

4 第2項の実務経験を書面にて提出すること。

5 業務従事者の変更については、事前に届け出ること。

6 新規従事者については、事前に従事者教育を行うこと。

7 業務を行う上で現場責任者を含め13人以上清掃員を配置すること

(不適格者の排除)

第5条 甲は、前4条に定める業務従事者に業務遂行上不適当と認められるものがあるときは、乙に対して必要な処置を求めることができる。

(業務の実施)

第6条 乙は、業務の実施に当たり、業務に従事する作業員を指揮監督し、施設の特
殊性及び業務等を配慮する。

2 乙は、甲と密接な連絡をとり、施設の運営状況を考慮した上で業務の計画を立案し、甲の承認を得て実施に当たること。業務に万全を期するものとする。

3 乙は、所定の様式による清掃作業報告書を作成し、適時監督員に提出すること。

4 次の項目を遵守し、業務を行うこと。

(1) 作業員は、作業時間中専用の作業服を着用し、名札を付けるなど、部外者と誤認されないよう配慮すること。

(2) 作業員の更衣及び休養は、甲が指定する場所において行うものとする。

(3) 清掃作業員控え室は、常に整理、整頓に努め、火気については、特に注意すること。

(4) 作業員は、職務上知り得た甲の機密については、他に漏らしてはならない。

5 業務遂行に当たり、次の事項に留意すること。

(1) 業務の実施に当たっては、病院業務の重要性を認識して行うこと。

(2) 患者等に対する安全を心がけ、思いやりを持つこと。

(3) 患者の安静、療養を妨げないこと。

- (4) 室内清掃に当たっては、医療機器に手を触れないよう留意すること。
 - (5) ほこり等を飛散させないよう留意すること。
 - (6) 室内が温湿度調整等してある場合は、扉、窓等の開閉には特に留意すること。
- (安全衛生管理)

第7条 乙は、業務の実施に当たっては、甲又は第三者に危害又は損害を与えないように万全の措置をとらなければならない。また、危害又は損害を与えた場合、もしくはその恐れのある場合には、業務責任者は、直ちに甲に報告すること。

(緊急時の措置)

第8条 甲は、業務を実施する上で必要と認められる場合は、乙に対し業務対象場所及び内容見直し等の措置を求めることができる。

- 2 甲が緊急を要すると判断した業務については、乙にほかの業務に優先して実施するよう指示することができる。この場合、乙は甲の指示に基づきこれに対応しなければならない。

(負担区分)

第9条 清掃に使用する材料（マスク、手袋等含む）、機械、器具類、トイレットペーパー、トイレ用使い捨てブラシ、ゴミ袋等の補充は乙の負担とし、電力、ガス、給湯、給水は甲の負担とする。なお、使用する資材は、日本工業規格品又は、これと同等以上の品質とする。

- 2 当該施設及び設備の使用について、乙は甲の指定した施設及び設備を使用することができる。
- 3 乙は、前項に掲げる以外のもので、業務遂行上必要と認められる場合は、甲の許可を得て使用することができる。
- 4 乙は、貸与品及び支給品について、善良な管理を行わなければならない。

(定めのない事項)

第10条 この仕様書に質疑が生じた場合又は定めがない事項については、甲、乙協議して定めるものとする。